



夏の消費電力削減のため、栃木校校舎西側に日差しを遮るシートが設置されました。

あじけんで七夕を祝いました

今月6日（金）、実習生の皆さんが、日本の七夕（たなばた）を体験しました。七夕という行事を始めて体験する実習生も多く、皆とても楽しそうに、短冊書きや飾り付けに取り組んでいました。願い事で一番多かったのは、やはり「家族の健康・幸せ」。また、「日本語の上達」を願う実習生もたくさんいました。実習生の皆さんの「にほんごが、じょうずになりますように」という願いが叶えられるよう、アジ研講師・スタッフ一同、これからも頑張っていきたいと思えます。



フィリピン共和国出身：
CASTRO AVELINO JR. VACUNAU (アヴェリノさん)

フィリピンには、たなばたがありませんから、とてもいいけんができました。みんなで、ねがいをかいたり、かざりをつけたり、とてもたのしかったです。

わたしは、みなさんのしあわせ、フィリピンのじっしゅうせいがふえること、くにかえったら、くるまがかえることを おねがいしました。たくさん、おねがいしました。

あじけん流日本語授業

今月のあじけん流日本語授業は、「しょちゅうみまいをだしまししょう！」と題して行なわれた、「書く」指導の実践例をご紹介します。

この授業で、実習生の皆さんは、各自の実習実施機関に宛てて、暑中見舞いのハガキを書きました。本文は基本的に「ひらがな表記」としましたが、本文の最後に付ける日付（〇月〇日）や数字等の基本的な単語は、漢字表記の指導を行ない、漢字に対する苦手意識が強い非漢字圏（ベトナム・フィリピン等）の実習生のみなさんに、少しでも漢字に慣れてもらうことも指導目標の1つとしました。実習生の皆さんは、自分たちが書いたハガキが実際に実習先に送られるということで、大変意欲的に取り組んでいました。

今後は、この活動を日本語講習のカリキュラム（講習修了間際）に取り入れ、継続的に実施していきたいと考えております。管理団体の皆様には、実習実施機関の住所などについてお伺いするなど、お手数をおかけすることがあるかと思いますが、ご協力よろしく申し上げます。



間違いのないように、何度も下書きをしてから、いよいよ清書に取り掛かる実習生の皆さん。

書き終えたハガキは、研修センターの向かいにある郵便ポストに自分たちの手で投函しました。



王 麗媛さん

潘 徳高さん

きれいにハガキを かくことは むずかしかったです
が とてもたのしかったです。 王 麗媛

かいしゃにハガキを かくことは とてもきんちよ
しました。でも とてもいいことだとおもいます。

潘 徳高